

施策評価シート【重点施策】

個別施策 - (3)

子どもの健やかな成長を支援する

基本的な方向性

地域・保育所・学校において、施設整備、育児・学習支援、相談しやすい環境を整えるとともに、適切な支援へつなげることにより、子どもの成長に向けた機会・体制を充実します。

重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	実績値					5年度 目標値
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度	5年度	
子育て支援センター・つどいの広場の子どもの平均利用回数【年間】	回	4.3	1.7				4.5
介助員数	人	115	137				133

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

「地域子育て支援拠点事業の推進」

コロナ危機でも、子育て支援センター及びつどいの広場において、子育て家庭の交流の場や育児相談のできる場を継続して提供することで、親子の孤立を防ぐとともに、子育てに対する不安の軽減を図りました。

「子どもの相談・生活助言・学習支援や適切な支援へのつなぎ」

保育所や幼稚園等への訪問支援や学校への巡回相談を実施することで、障がいの早期発見・早期療育を図るとともに、就学移行支援を行いました。

特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒について、学校を巡回し入学前の有効な情報を伝えとともに、継続的な支援により、児童・生徒が円滑に学校生活を過ごすことができました。また、介助員や医療的ケア学校看護師を学校に派遣することにより、障がいのある児童・生徒が円滑に学校生活を送ることができました。さらに、サン・サンスタッフ（学習支援補助員）を全小・中学校へ派遣し、様々な支援を必要とする児童・生徒へ学習・生活面で適正かつ細やかに支援し、落ち着いて学習できる環境や授業体制づくりを補助することができました。サン・サンスタッフ（学校司書）は、全小・中学校へ配置を行い、児童・生徒が本に親しむために、図書室便りの作成や学校図書館の整備及び充実を図りました。

放課後自主学习教室を実施し、子どもたちの学習意欲の向上を図りました。また、外国

人英語指導者が学校を訪問し、幼児・児童・生徒の英語に対する興味・関心を高めたり、英語や外国の生活・文化に親しむ態度を育成したりすることで、幼児・児童・生徒のコミュニケーション能力の育成を図ることができました。

「学校施設の改修による学習環境の改善」

新型コロナウイルス感染症の影響により夏季休業期間が短縮されたため、小中学校の大規模改修工事やトイレ洋式化修繕を取りやめましたが、相模小学校の建設工事を進めました。

「中学校完全給食の早期実現に向けた取組の推進」

小・中学校の給食運営のあり方と新たな学校給食センターの整備の方向性を示した「平塚市学校給食基本構想・基本計画」を策定し、これに基づき新たな学校給食センターの整備・運営を行うための事業手法を決定しました。

「情報活用能力の育成」

G I G Aスクール構想に基づき、児童・生徒1人あたり1台のタブレット端末となる環境を整備しました。また、教員向けのICT活用研修を実施しました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>「地域子育て支援拠点事業の推進」 親子や親同士の交流の場の重要性が高いことから、様々な不安の解消が図れるように、幅広く周知していく必要があります。</p> <p>「子どもの相談・生活助言・学習支援や適切な支援へのつなぎ」 特別な教育的配慮や支援を必要とする子どもが増加しており、継続した支援体制の強化や専門人材等の配置、派遣する必要があります。</p>	<p>「地域子育て支援拠点事業の推進」 子育て支援センター及びつどいの広場事業の更なる周知を図るため、平塚市LINE公式アカウントによる情報発信等を活用します。</p> <p>「子どもの相談・生活助言・学習支援や適切な支援へのつなぎ」 小学校、幼稚園、保育所等関係機関との連携を強化するとともに、専門スタッフによる相談体制の充実を図ります。 子どもが安心して学校生活を送れるように、サンサンスタッフ（学習支援補助員）による適切な支援を行える体制を構築します。また、学校図書館の環境整備、貸出し体制の充実により、読書への関心、学習に関する図書のかかわりを深めるために、サンサンスタッフ（学校司書）の全校配置を継続します。</p>

英語や外国の生活・文化に親しむ態度の育成や家庭学習を習慣化させる必要があります。

「学校施設の改修による学習環境の改善」
学校施設の老朽化や児童数・生徒数の減少等を踏まえ、中・長期的な視点から改修を行う必要があります。

「中学校完全給食の早期実現に向けた取組の推進」
新たな学校給食センターの整備・運営に係る費用負担は大きく、適切なスケジュール管理が必要です。

「情報活用能力の育成」
G I G Aスクール構想に基づき整備した環境を維持管理していく必要があります。また、ICT活用について教員のさらなるスキルアップが必要です。

外国人英語指導者の学校訪問及び放課後自主学習教室を実施し、学習習慣についての意識付けを図るとともに、学習意欲の向上や家庭学習の習慣化を図ってまいります。

「学校施設の改修による学習環境の改善」
施設の適切な維持管理を行うとともに、大規模改修工事等を計画的に実施し、快適な教育環境への改善を図ります。

「中学校完全給食の早期実現に向けた取組の推進」
民間活力を活用することで、持続可能で効果的かつ効果的な方策を目指します。

「情報活用能力の育成」
G I G Aスクール構想に基づき整備した環境について、適切な保守を実施します。また、教員向けのICT活用研修を実施し、教員のスキルアップを図ります。

関連する【取組】と（事業）

【さまざまな子どもの相談・生活助言や適切な支援へのつなぎ】（教育相談事業）（就学相談・指導事業）（スクールカウンセラー派遣事業）（スクールソーシャルワーカー派遣事業）（適応指導教室事業）（地域療育システム事業）

【子どもたちの学習意欲の向上や情報活用能力の育成、英語教育の充実】（放課後自主学習教室事業）（小学校情報教育推進事業）（中学校情報教育推進事業）（教育の情報化推進事業）（外国人英語指導者の学校訪問事業）

【子育て家庭に対する育児支援を行うための地域子育て支援拠点事業の推進】（地域子育て支援推進事業）

【子どもたちの健やかな成長を支援し教育の効果を高める支援スタッフの派遣】（サン・サンスタッフ派遣事業）

【子どもたちが安心して学校生活を送るための支援員の派遣】（介助員派遣事業）

【子どもたちが快適に学校生活を送るための空調機設置やトイレ洋式化の推進】（小学校施設管理事業）（中学校施設管理事業）（小学校大規模改修事業）（中学校大規模改修事業）

【適正規模での快適な学習環境の整備】（相模小学校移転整備事業）

【中学校完全給食の早期実現に向けた取組の推進】（中学校完全給食準備事業）

